

令和7年度第1回 恵那市介護保険運営協議会議事録

I 日時 令和7年7月31日（木）午後1時30分～午後2時5分

II 場所 恵那市役所北庁舎会議室

III 審議委員 安部俊一会長、遠山恒宏委員、渡邊政子委員、縄田麻里子委員、
松原淑明委員、前野禎委員、鈴木弘二委員、田北英美子委員、
渡辺ちえみ委員、島崎太郎委員、安藤貴之委員、後藤修一委員、
各務一彦委員、瀬瀬恵美委員
(欠席) 桐山光生副会長、西尾由香委員、三宅弘文委員

IV 傍聴者 1名

V 次第

1. 開会
2. 委嘱
3. あいさつ
4. 会長、副会長の選出
5. 議事（報告事項）
 - (1) 介護保険事業、地域支援事業、高齢者等生活支援事業の実施状況について
 - (2) 第9期介護保険事業計画自己評価シートについて
6. その他
7. 閉会

VI 議事録

1. 開会

■事務局

これより開会する。

本日、7番桐山委員、9番西尾委員。17番三宅委員は所用により欠席。

恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開とし、会議録を公表する。

2. 委嘱

■事務局

次に委嘱に移ります。委嘱書は時間の都合上、机上に配布してある。任期は規則第 3 条 3 により令和 9 年 3 月末までとなる。

3. あいさつ

■医療福祉部長

酷暑が続いている。先日も丹波市で 41.2 度という記録的な暑さとなった。暑い最中お集まりいただきありがとうございます。日頃から介護保険事業、高齢者支援等いろいろな面で協力、支援賜り御礼申し上げます。

委員を委嘱した。2 年間の任期だが、来年度は第 10 期介護保険事業計画の策定期間になる。協力、支援をお願いします。

恵那市の人口は現在 4 万 5670 人で、65 歳以上の高齢者は 1 万 6659 人、36.5%。人口は合併以来減少し続けているが、高齢化率人口のピークは平成 30 年 10 月 1 日の 1 万 7107 人で、それより約 450 人減っている。ただ、高齢者率は増加している。高齢者人口も今後は緩やかに減るが、少子化もあり、高齢化率は今後も高くなる。また、市内 13 地域で一番高齢化率の高い地域では 55%を超える。2 人に 1 人以上の高齢者がいる。

9 月に敬老事業を迎える。今年度 100 歳を迎えるのが 45 人、101 歳を超えるのが 73 人。100 歳以上が 118 人もおり、長寿のまちである。

本日は令和 6 年度の介護保険事業の実績などを報告する。また、計画の進捗状況も報告する。忌憚のない御意見を賜りたい。

■事務局

名簿順に自己紹介していただく。【各委員事務局自己紹介】

4. 会長、副会長の選出

■事務局

協議会規則により会長は委員の互選により選出する。立候補、推薦はあるか。

〔 立候補、推薦なし 〕

■事務局 事務局案を示しても良いか。

〔 「異議なし」の声あり 〕

■事務局 会長に恵中医会の安部委員はいかがか。

〔 拍手により承認 〕

■事務局 承認いただいたので、安部会長は席の移動をお願いします。挨拶をお願いします。

■安部会長

指名いただいたので会長を務める。介護保険は市にとっても市民にとっても大事な事業である。活発な議論をお願いする。

■事務局 副会長は規則第 4 条により会長が指名するとなっている。安部会長、指名をお願いします。

■安部会長 恵那歯科医師会の桐山委員をお願いする。本日欠席だが本人の承諾は得ている。

■事務局 これより会長が進行する。

5. 議事（報告事項）（進行：会長）

（1）介護保険事業、地域支援事業、高齢者等生活支援事業の実施状況について

■議長（会長）

本日は議事録作成のため会議の内容を録音する。発言は挙手の上マイクを通して発言するようにお願いする。

議事について事務局の説明を求める。

〔 事務局説明 〕

■議長（会長）

（1）介護保険事業の実施状況について①で、「高齢者の前年同月比を見ると、65 歳から 75 歳未満の前期高齢者は-4.9%、後期高齢者は+1.9%」、ということは今後後期高齢者が減ってくるということを示しているのか。

■事務局

前期高齢者は前年から-354 人、後期高齢者は+186 人。前期と後期を足すと-160 人ぐらいになる。人口減少に伴い高齢者全体としては減少すると思う。

恵那市の人口が全体に減っている。団塊の世代が 75 歳を超える時期になっている。65 歳以上は減少傾向にあるが、75 歳以上の割合は増える傾向にある。

■委員

3 ページの下の方で、要支援者が恵那市は少なく、要介護者は全国平均より多い。恵那市民は奥ゆかしく「支援を受けなくてもいい」という感じであり、「でもやっぱり大変だ」ということになるのではないかと。重層的支援も始まるので、要支援のもっと前から目を付けて、要支援で拾っていただくと、要介護になる人が減ると思うが、どうか。

■事務局

高齢化率が全国平均より恵那市は高いことが要因だと思われる。認定もそれに伴ってい

る。

恵那市では、要支援 1、2 の手前の段階の、総合事業というヘルパーやデイサービスや弁当のサービスを使う事業対象者が400人位いる。その数字がここに入っていないので、支援 1、2 のサービスを使っている人が少なく見える。その400人位の人たちが他のサービスを使って介護にならないように介護予防をしている。

■議長（会長）

ほかに何かあるか。

ないようなので、承認に移る。議事（1）について承認の方は挙手をお願いします。

〔 全委員挙手 〕

■議長（会長） 全会一致で承認とする。

（2）第9期介護保険事業計画自己評価シートについて

〔 事務局説明 〕

■議長（会長） 質疑はあるか。

〔 質疑なし 〕

■議長（会長） ないようなので、承認の方は挙手をお願いします。

〔 全委員挙手 〕

■議長（会長） 全会一致で承認とする。

6. その他

養護老人ホーム恵光園について

〔 事務局説明 〕

■議長（会長）

料金改定について、やむを得ないところがあると思う。質疑を求める。

■委員

恵光園は老人ホームなのか。

■事務局

老人ホームではあるが、根拠法令が違う。通常の特別養護老人ホームは介護保険法に基づくが、こちらは老人福祉法に基づく。介護保険料で運営しているものではない。

■委員

施設の補助金はどういう形で出るのか。

■事務局

入居している人からある程度負担金を徴収するが、本人の経済状況に合わせて費用負担を決める。ただ、それだけでは賄えないので、国からもらっている交付税や、それ以外に

も市税から補填している。

■委員

先月、明日香苑に 1 泊 2 日で夫をショートステイさせてもらったら、介護保険の負担のほかに実費 7500 円要ると言われた。それを思うとすごく安いと感じる。老人ホームだから安いのか。

■事務局

介護の施設は、利用者には介護のサービスを提供しなければならず、人や設備もそのようなものが必要だが、養護老人ホームは自立して生活できる人を対象としており、手がかからない。介護になる前段階の人が対象になる。そういうところでの費用の違いがあると考える。

■委員

送迎の費用で送迎距離は関係ないという設定か。

■事務局

実際の利用者は恵那市内者がほとんどなので、想定で一番遠いのは串原。恵光園から串原に行って帰ってくると 2 時間ぐらいかかる。その距離の燃料代と 2 時間の人件費を、今まで往復 1000 円としており、送迎のたびに赤字だった。その辺を鑑みて、施設と金額は今相談しているが、片道 1000 円頂けば施設としても制度的には運用していけるという話を頂いているので、今回この金額設定としている。

■委員

遠い所の人は良いが、近いところでも 1 回でこれだとうか。

■事務局

「～以内」であり上限である。

7. 閉会

■議長（会長） 恵那市介護保険運営協議会を閉会とする。

〔 閉 会 〕